

貝類の増養殖（クロチョウガイの母貝養成）に関する技術交流会

1. 目的

石川市漁協では定置網漁業、刺網漁業、そして近年では、パヤオ、ソデイカ漁等行われているが、周年通して比較的静穏な金武湾海域を有効に利用した養殖等栽培漁業を積極的に推進しようという機運が青壮年部を中心に高まりつつある。この事から、今回は貝類の増養殖に関する知見を深めるため、特に八重山漁協で数年来行われており軌道に乗りつつあるクロチョウガイの母貝養殖について視察研修等行うこととした。

2. 交流先

八重山漁協
琉球真珠株式会社
県水産試験場八重山支場

3. 日程

9月5日（木）

- ・八重山漁協にてクロチョウガイ母貝養殖について概要説明を受けた
- ・クロチョウガイ母貝養殖現場視察
- ・琉球真珠（株）視察及びクロチョウガイ母貝養殖概要説明を受けた

9月6日（金）

- ・県水産試験場八重山支場視察

4. 参加者

石川市漁協 青壮年部長 伊波盛光氏
定置網グループ代表 伊波正郎氏
水産業改良普及所 近藤 忍

5. 交流内容

(1) 八重山漁協

漁協管理課長伊良部氏及び真珠母貝養殖研究会上原氏よりクロチョウガイ母貝養殖について説明を受けた。同研究会では、平成5年から従来、琉球真珠株式会社が自ら行ってきた真珠母

貝養殖を漁業者に任せようという母貝養殖の分業化計画に対して積極的に取り組んでいる。琉球真珠の技術指導を受けながら母貝養殖の試験研究が行われ、同年9月の漁業権新規取得に伴い市より資材機器等の補助を受け本格的な母貝養殖の分業化事業に取り組んでいる。「当事業はまだ途についたばかりでこれからです」という上原氏であったが母貝の取り扱い実績等、順調に推移してきているようであった。また、浮海地先に設置してある同研究会の養殖筏を視察させていただいた。

この後、琉球真珠株式会社を訪問し、養殖部長仲野氏より真珠養殖の作業工程等説明を受けた。又、今回の目的の一つである金武湾海域における真珠母貝養殖の可能性について具体的な養殖適地、水質環境等諸問題について皆で議論した。

(2) 県水産試験場八重山支場

翌日、県水産試験場八重山支場を視察した。支場長村越氏より業務内容の説明、そして施設内を案内していただいた。

6. 所感

当初、石川市漁協青壮年部では八重山漁協がクロチョウガイの母貝養殖を行っているとの旨聞くに及び金武湾海域においても同様に母貝養殖が行えないかとの期待があったが、仲野氏の説明によると近年、赤土の流入等水質汚濁の著しい当海域では、クロチョウガイの特に幼貝期に大きな減耗を被る危険があり、母貝養殖は難しいのではないかとのことであった。浮海の養殖生け簀を視察したおり、青壮年部長の伊波盛光氏も金武湾海域とは比べものにならないほどの透明度の良さに感嘆しておられた。

しかしながら、今後も金武湾海域に適した増養殖対象種について情報収集等行い、石川市漁協で何らかの増養殖事業を展開していきたいとの青壮年部の要望であった。